

トマト（夏秋被覆栽培）の病害虫の発生状況（8月中下旬）

1 灰色かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。高湿度条件下で発生しやすくなるため、換気を十分に行ってください。果実にゴーストスポットが発生した場合、商品価値を大きく低下させるため注意が必要です（写真1）。

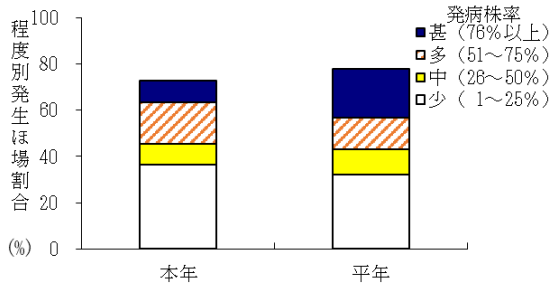


図1 灰色かび病の発生状況

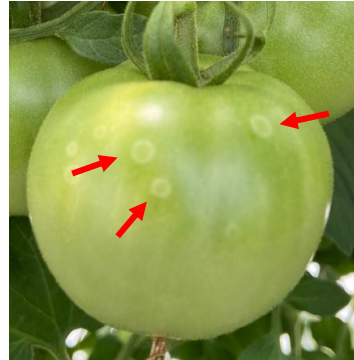


写真1 トマト果実に発生したゴーストスポット

2 葉かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図2）。高湿度条件下で発生しやすくなるため注意してください。葉かび病抵抗性品種もありますが、これらの品種を侵す菌のレースが存在しますので、抵抗性品種を作付けしているほ場でも発病がみられた場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

すすかび病と病徴が似ているので、葉かび病かすすかび病かを確認した上、適切な薬剤を選択して防除してください。

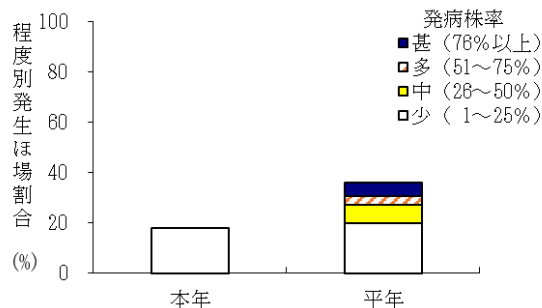


図2 葉かび病の発生状況

3 すすかび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）が、発病度の高いほ場が確認されているため注意が必要です。多湿条件で、発生しやすくなるため換気を十分に行ってください。葉かび病よりも高温期に発生が見られます。発病が見られた場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

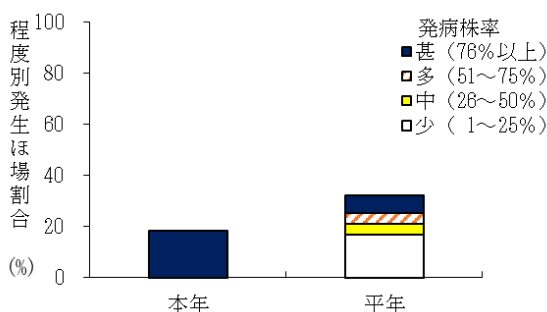


図3 すすかび病の発生状況

4 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。ほ場をよく観察し、発生が多くなった場合には速やかに防除を実施してください。また、アブラムシ類は、CMV等のウイルス病を媒介するので注意が必要です。

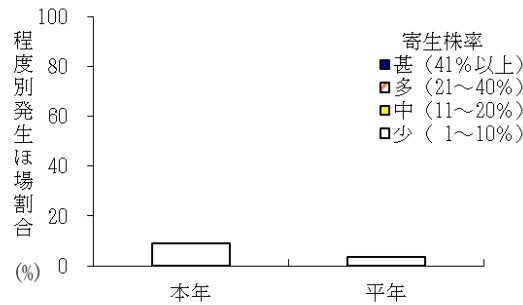


図4 アブラムシ類の発生状況

5 コナジラミ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図5）が、寄生葉率の高いほ場が確認されているため、注意が必要です。寄生種がタバココナジラミの場合は、着色異常果の発生やトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介するので注意してください。まん延すると防除が困難になるので、低密度時から防除を実施してください。

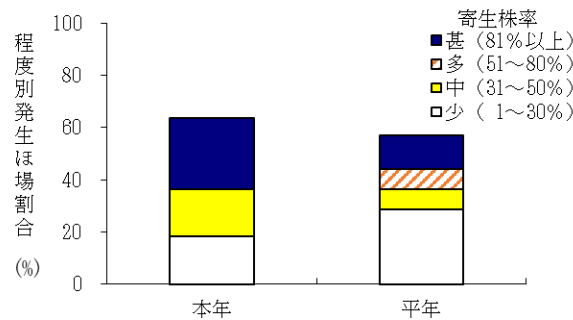


図5 コナジラミ類の発生状況

6 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図6）。防虫ネットの設置が定着していますが、ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施してください（写真2）。また、アザミウマ類は、TSWV等のウイルス病を媒介するので注意が必要です。

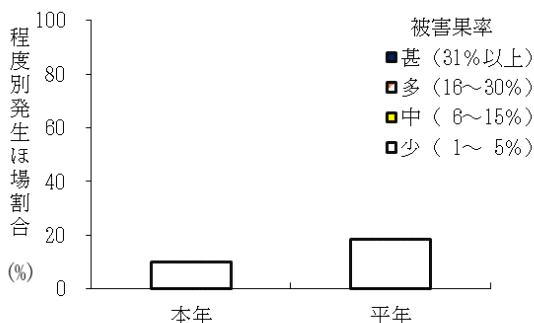


図6 アザミウマ類の果実被害発生状況



写真2 トマト果実に発生した白ぶくれ

7 ハモグリバエ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図7）。まん延すると防除が困難になるので、発生が見られる場合には、低密度時から防除を実施してください。

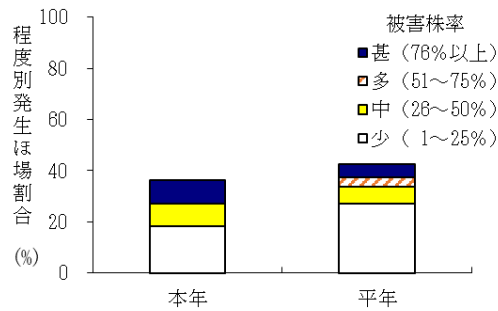


図7 ハモグリバエ類の発生状況

8 オオタバコガ

巡回調査での発生ほ場割合は、平年並でした（図8）が、被害果率の高いほ場が確認されているため注意が必要です。フェロモントラップ調査では、伊達市、猪苗代町での誘殺数が平年より多い状況でした（図9、10）。ほ場をよく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください（写真3）。

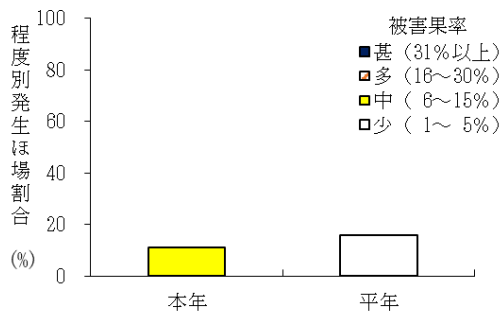


図8 オオタバコガの果実被害発生状況



写真3 果実を食害するオオタバコガ

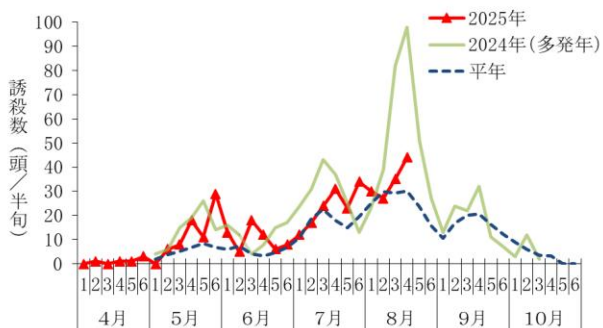


図9 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(伊達市保原町:キク)
※2025年は4月から調査開始

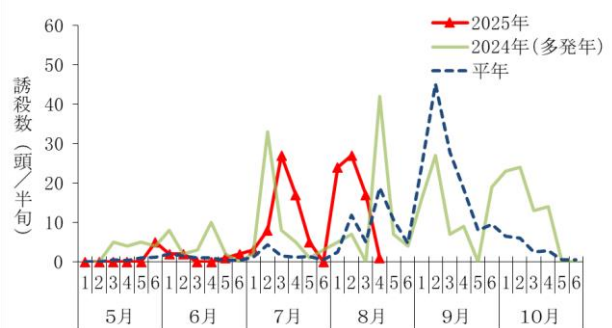


図10 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(猪苗代町:トマト)

注意が必要な病害虫

■ トマト黄化葉巻病 (TYLCV)

夏秋トマト、ミニトマトで、トマト黄化葉巻病の発生及び発生地域の拡大が確認されています。発生ほ場においては、コナジラミ類の防除を徹底してください。また、発病が疑われる株については速やかに抜き取り処理を行ってください。なお、今後定植するほ場では、コナジラミ類の侵入を防止するため、ハウス開口部に防虫ネット（0.4mm目合い）を設置しましょう。

病害虫防除所ホームページでも情報を掲載しているため、下記のURLも参考にしてください。

【注意喚起～トマト黄化葉巻病 (TYLCV) のまん延防止対策～】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/544337.pdf>

【トマト黄化葉巻病 (TYLCV) 対策 チラシ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648953.pdf>

【トマト黄化葉巻病 (TYLCV) 対策 パンフレット】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648954.pdf>

■ トマトキバガ

南会津地域のフェロモントラップでは、8月1半旬から誘殺数が増加傾向となっています（図1）。葉や果実の被害痕をよく観察し、今後の発生に注意してください。

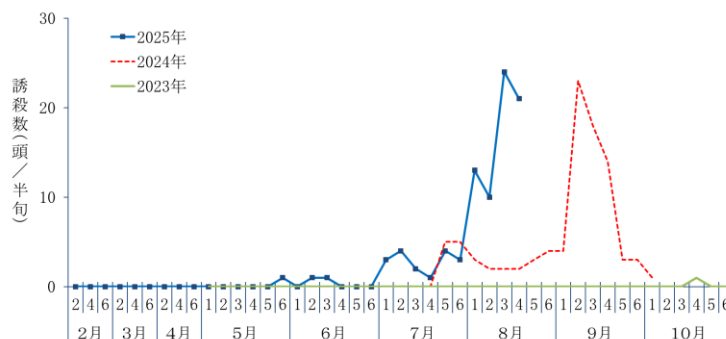


図11 フェロモントラップによるトマトキバガ誘殺数
(南会津町水根沢:トマト)
※2025年2～4月は南会津町宮床のほ場に設置
※2023、2024年は南会津町界のほ場に設置

■ トマトサビダニ

県内複数地域において、発生を確認しています。トマトサビダニは非常に小さい害虫で、被害が大きくなるまで発生に気づかないことがあります。発生が見られたら、すぐに薬剤による防除を徹底しましょう。

被害は葉が黄化、褐変し、症状は徐々に上部へ広がります。被害が進むと初期の加害葉は枯れあがり、茎も褐変します。多発すると果実も加害され、褐変し、肥大しなくなります。今後の高温乾燥条件で、さらに被害が拡大する可能性があるため注意が必要です。

※ 夏秋トマトの巡回調査では、下記の11ほ場を調査しています。

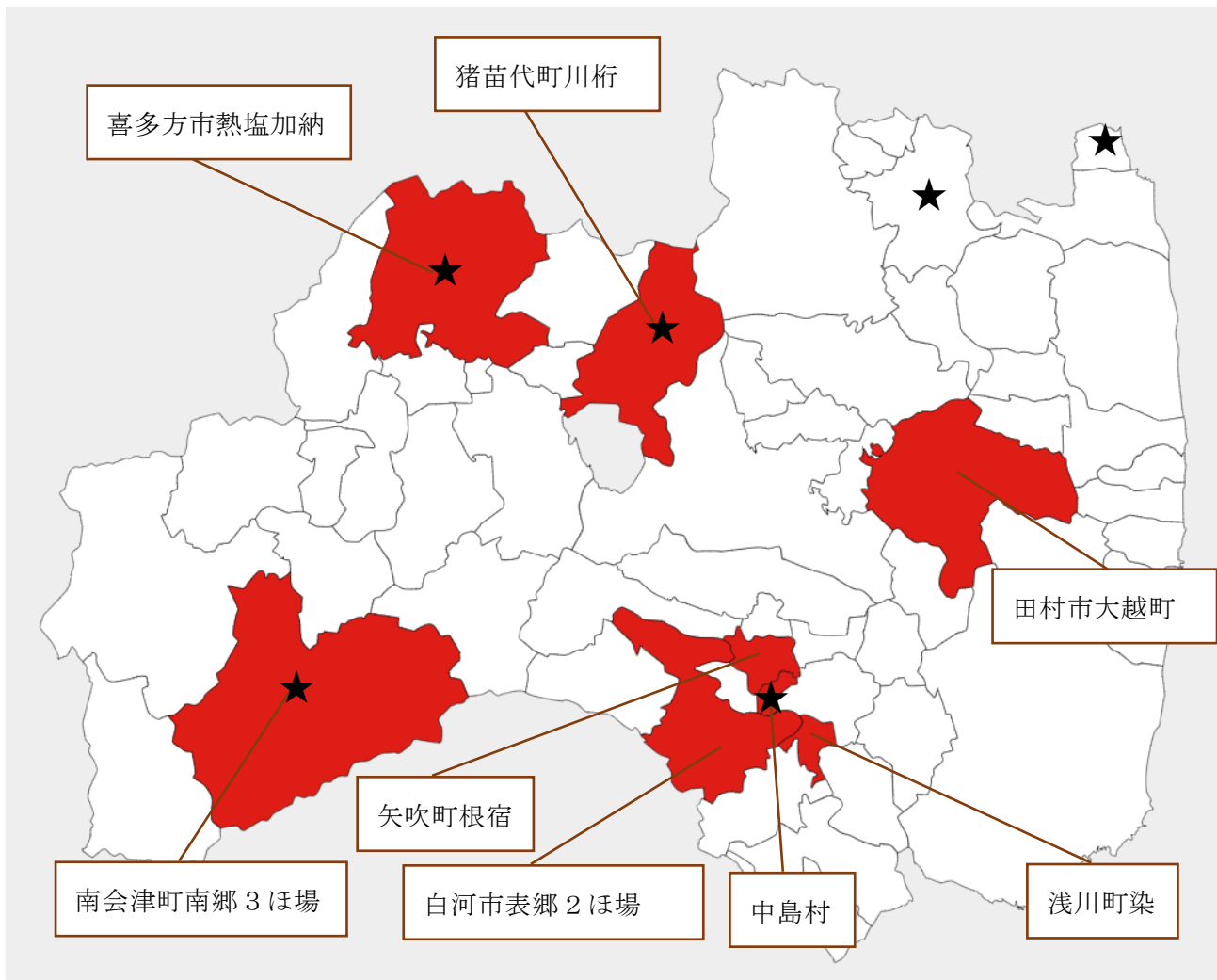


図 夏秋トマトの巡回調査地点

※網掛け：夏秋トマト巡回調査地点、8市町村、11地点

※★：オオタバコガのフェロモントラップ調査地点、6地点

● 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp